

平成29年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 浅山雄彦

問合せ先責任者 (役職名) 社長室部長

(氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成28年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	3,608	△6.2	252	△26.8	248	△24.3	106	△51.8
28年8月期第1四半期	3,848	14.2	344	98.6	327	97.0	220	121.1

(注)包括利益 29年8月期第1四半期 118百万円 (△45.5%) 28年8月期第1四半期 217百万円 (94.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	8.80	—
28年8月期第1四半期	18.31	18.25

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
29年8月期第1四半期	16,343		7,370		45.1	
28年8月期	16,343		7,372		45.1	

(参考)自己資本 29年8月期第1四半期 7,370百万円 28年8月期 7,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年8月期	—				
29年8月期(予想)		5.00	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年 8月期の連結業績予想(平成28年 9月 1日～平成29年 8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,400	△0.2	500	△6.7	470	△5.9	200	△41.1	16.51
通期	15,000	2.5	1,050	17.9	1,000	23.1	500	2.1	41.29

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年8月期1Q	12,189,720 株	28年8月期	12,189,720 株
29年8月期1Q	80,903 株	28年8月期	80,903 株
29年8月期1Q	12,108,817 株	28年8月期1Q	12,066,797 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期(平成28年9月1日～平成28年11月30日)におけるわが国の経済は、雇用・所得環境や企業収益に改善が見られるなど緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめとするアジア新興国の景気減速や英国のEU離脱問題など世界経済の不確実性は強い状況にあり、国内経済を下押しする懸念要因となっております。

当社グループが属する健康食品市場は、高齢者人口の増加と消費者の健康維持・増進、美容・アンチエイジングに対する意識の高さから、今後とも潜在需要は引き続き堅調に推移するものと思われまます。しかしながら、依然として広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で企業間の競争は激しく、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループはOEM部門の売上高がブーム商品の落ち込みにより減収となったこと等が影響し、当第1四半期の連結売上高は3,608百万円(前年同期比6.2%減)、営業利益は252百万円(前年同期比26.8%減)、経常利益は248百万円(前年同期比24.3%減)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は役員退職慰労金等の特別損失を計上した影響も加わり、106百万円(前年同期比51.8%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

・OEM部門

当社グループの基幹事業である当部門は、安定的な受注が見込めるベーシック商材の営業活動に注力し、当該商材の受注が好調に推移いたしました。しかしながら、前年同期まで好調であったスムージーなどのブーム商品の落ち込みを埋めるまでには至らず、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、台湾のAFC代理店においてTVショッピングなどの販売促進活動が奏功し、化粧品受注が増加いたしました。また、既存顧客へ新たな商品を提案し、品目数の増加による受注が好調に推移いたしました。これらの要因に加え、既存顧客への売上タイミングのずれが影響し、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

・通信販売部門

引き続きインターネット販売において『葉酸サプリ』を始めとする妊活層をターゲットとした商品群が堅調に推移いたしました。また、本草製薬㈱が展開するチェーンドラッグストアと広告連動を行い、随時地域拡大をしていく予定です。以上の結果、当部門の売上高は前年同期を上回る結果となりました。

昨年10月に受理された機能性表示食品『ルテインGOLD』については、今後露出を高め、販売拡大を狙ってまいります。

・卸販売部門

妊婦をターゲットとしネット販売で伸長の商品『葉酸サプリ』を、乳幼児用品を販売する大型チェーン店3社へ卸販売を開始いたしました。また、チェーンドラッグストアに対し、専売商品を企画提案し店頭での販売が始まりました。しかしながら、前年同期に好調であったインバウンド需要及びスーパーフードなどの落ち込みが影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

・店舗販売部門

当部門は、“百貨店における店舗販売”“百貨店外商部との協同販売”“百貨店とタイアップした通信販売”の3つを主要な販路としております。

前期に続き、スムージーや青汁、スーパーフードなどの食品寄り商品が好調に推移いたしました。また、百貨店海外店舗へ帯同し、昨年10月に“イセタン・ザ・ジャパン・ストア・クアラルンプール”へ商品を出品したほか、昨年11月にオープンした天猫国際(中国最大のネット通販サイト)“三越伊勢丹海外旗艦店”へ出品準備を進めております。しかしながら、前期好調であったインバウンド需要の減少が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高3,329百万円(前年同期比5.9%減)、営業利益366百万円(前年同期比15.2%減)(全社費用調整前)となりました。

②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、他社製剤と比較しても効能効果の同等性はもちろんのこと、患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業については、昨年1月より㈱エーエフシーの通販事業において本草製薬㈱が製造する漢方薬の販売を開始し、一定の成果を上げたほか、昨年6月よりチェーンドラッグストアと販売提携し広告投入による拡販が奏功いたしました。

しかしながら、本草製薬㈱において不採算品目の漢方製剤の販売を控えたことが影響し、医薬品事業全体では、売上高が279百万円（前年同期比9.9%減）、営業利益は5百万円（前年同期比71.8%減）（全社費用調整前）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円増加し、8,257百万円となりました。この増加要因は主として、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が270百万円減少した反面、流動資産のその他が159百万円、商品及び製品が123百万円増加したことによるものであります。

②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、8,085百万円となりました。この減少要因は主として、投資その他の資産のその他が10百万円減少したことに加え、償却により有形固定資産が8百万円減少したことによるものであります。

③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ874百万円増加し、6,876百万円となりました。この増加要因は主として、流動負債のその他が483百万円増加したことに加え、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が固定負債から振替られたことにより、短期借入金が415百万円増加したことによるものであります。

④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ872百万円減少し、2,096百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が1年以内に到来する長期借入金が流動負債へ振替られたことなどにより長期借入金が619百万円減少したことに加え、役員退職慰労引当金が216百万円減少したことによるものであります。

⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2百万円減少し、7,370百万円となりました。この減少要因は、その他有価証券評価差額金が12百万円増加した反面、期末配当により利益剰余金が14百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年12月16日の「役員退職慰労金の贈呈に伴う特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,722,581	3,452,121
受取手形及び売掛金	1,895,580	1,849,337
商品及び製品	872,300	995,460
仕掛品	692,871	717,671
原材料及び貯蔵品	820,134	853,554
その他	239,489	399,231
貸倒引当金	△10,760	△9,665
流動資産合計	8,232,198	8,257,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,689,172	2,704,053
土地	4,243,229	4,243,229
その他(純額)	677,044	653,438
有形固定資産合計	7,609,446	7,600,720
無形固定資産		
のれん	4,081	3,826
その他	90,900	84,103
無形固定資産合計	94,981	87,930
投資その他の資産		
その他	470,207	459,990
貸倒引当金	△63,119	△63,119
投資その他の資産合計	407,088	396,871
固定資産合計	8,111,516	8,085,522
資産合計	16,343,714	16,343,234
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,821,926	1,788,344
短期借入金	2,928,393	3,343,975
未払法人税等	135,658	103,795
賞与引当金	109,200	148,228
ポイント引当金	11,924	14,159
その他	994,186	1,477,709
流動負債合計	6,001,288	6,876,212
固定負債		
社債	156,000	156,000
長期借入金	1,776,594	1,156,626
役員退職慰労引当金	381,433	164,574
退職給付に係る負債	239,127	247,192
負ののれん	2,816	2,675
その他	413,821	369,852
固定負債合計	2,969,792	2,096,921
負債合計	8,971,081	8,973,133

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,469,539	1,469,539
利益剰余金	4,572,563	4,557,995
自己株式	△59,229	△59,229
株主資本合計	7,388,371	7,373,803
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△15,738	△3,703
その他の包括利益累計額合計	△15,738	△3,703
純資産合計	7,372,633	7,370,100
負債純資産合計	16,343,714	16,343,234

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	3,848,502	3,608,808
売上原価	2,664,868	2,477,375
売上総利益	1,183,633	1,131,432
販売費及び一般管理費	838,794	879,087
営業利益	344,838	252,344
営業外収益		
受取利息	29	17
受取配当金	231	204
受取賃貸料	4,792	4,635
負ののれん償却額	140	140
損害賠償金収入	—	4,377
助成金収入	—	2,681
その他	2,410	3,202
営業外収益合計	7,605	15,260
営業外費用		
支払利息	21,516	16,938
その他	3,438	2,628
営業外費用合計	24,954	19,566
経常利益	327,489	248,038
特別利益		
投資有価証券売却益	2,544	6,562
補助金収入	—	24,000
債務免除益	—	12,675
特別利益合計	2,544	43,237
特別損失		
固定資産除却損	11,026	2,954
投資有価証券売却損	1,377	—
役員退職慰労金	—	224,475
特別損失合計	12,404	227,429
税金等調整前四半期純利益	317,628	63,846
法人税、住民税及び事業税	93,981	91,402
法人税等調整額	5,923	△134,077
法人税等合計	99,904	△42,674
四半期純利益	217,724	106,520
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,263	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	220,987	106,520

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
四半期純利益	217,724	106,520
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△324	12,034
その他の包括利益合計	△324	12,034
四半期包括利益	217,399	118,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220,662	118,555
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,263	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,538,544	309,957	3,848,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,538,544	309,957	3,848,502
セグメント利益	432,243	18,033	450,276

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,276
全社費用(注)	△105,437
四半期連結損益計算書の営業利益	344,838

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,329,614	279,194	3,608,808
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,329,614	279,194	3,608,808
セグメント利益	366,615	5,085	371,701

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	371,701
全社費用(注)	△119,356
四半期連結損益計算書の営業利益	252,344

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。